

1 題 材 風神雷神図屏風って何？

2 題材の目標

- (1) 日本の美術に关心をもち、琳派の造形のよさや美しさを学ぼうとする。
（美術への关心・意欲・態度）

(2) 風神雷神図屏風の造形の特徴を考え、よさや美しさを味わうことができる。
（鑑賞の能力）

3 題材について

江戸時代に京都の富裕な町人階級の中から生まれた「琳派」は江戸の庶民文化の花形であった浮世絵とともに、日本を代表する美術である。桃山時代（16世紀初頭）に俵屋宗達が斬新なデザイン感覚の造形藝術を起こし、次に元禄時代（17世紀末）に尾形光琳が宗達を継承した意匠美を完成させ、化政期（19世紀初頭）に酒井抱一が情緒豊かな江戸琳派を開いた。本題材はこの3人に共通する風神雷神図屏風について取り上げ、屏風のよさや美しさを味わうことができるようすることをねらいとしている。

2学年の生徒たちは、昨年「主役を探そう」という題材で浮世絵と西洋絵画の二つの絵画を比較しながら鑑賞する授業を行い、ただ絵画を見るだけでなく、その共通性と相違性を話し合いながら鑑賞を行った。

本学級の生徒の実態調査の結果は、次の通りである。

【実態調査】	2年*組(在籍 男子*人, 女子*人 計30人)	10月3日	29人実施
①尾形光琳と琳派の関係を知っていますか。	はい	0人	いいえ 29人
②風神雷神図屏風は知っていますか。	はい	20人	いいえ 9人
③この屏風の形式は知っていますか。	はい	9人	いいえ 20人
④俵屋宗達が何時代の画家なのか知っていますか。	はい	5人	いいえ 24人
⑤家庭に屏風はありますか。	はい	1人	いいえ 28人

実態調査の結果を見ると、2年生の美術の授業のオリエンテーションで「紅白梅図屏風」を取り上げ、尾形光琳や琳派や時代や技法等について話をしているが、印象に残っていない生徒が多いのが分かる。ただ「風神雷神図屏風」は知っていると答える生徒が多く、知識として理解していることもあるようである。そこで、本題材では教師からの一方的な説明ではなく、自ら考え方人と交流を通して興味関心を高めるとともにコミュニケーション能力も高めさせたい。

屏風は古くからあるスタンダードな形状だが、二曲一双の屏風は宗達以前にはない珍しい形である。また、正方形も宗達の特徴である。現代では、屏風の役割は、間仕切りや風よけとして使われることもある。しかし、家庭で実際に屏風を使って生活している家庭は多くなく、日常生活の中での関わりよりも芸術としての屏風の存在が大きいと思える。そこで、屏風が、身近に生活の中で使われる道具であることの側面も踏まえて、よさや美しさを味わえるようにしたい。

4 指導と評価の計画 (2時間扱い) (○は本時)

時	主な学習活動	学習活動に即した評価規準	関	鑑
①	風神雷神図屏風のよさや美しさを感じ取る。	<ul style="list-style-type: none"> ・風神雷神図屏風の造形のよさや美しさについて、主体的に感じ取ろうとしている。 ・風神雷神図屏風の特徴を知り、そのよさや美しさを感じ取り、自分の価値意識をもって味わっている。 	○	○
1	風神雷神図屏風と琳派の特徴を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・琳派や造形のよさや美しさについて、主体的に感じ取ろうとしている。 ・作者の違う風神雷神図屏風の、それぞれの作品のよさや美しさを感じ取り、自分の価値意識をもって味わっている。 	○	○

5 本時の指導

- (1) 目標
風神雷神図屏風の特徴を知り、そのよさや美しさを味わうことができる。

(2) 人権教育との関連
自分の考えと友人と意見を交換することを通して、本校の人権教育の視点（1　自他を大切にし、思いやりの心を大切にし、協力することができる。）に迫りたい。

(3) 本時における言語活動
作品を鑑賞して感じ取った屏風絵の特徴やそのよさを自分の思いや考えとしてを友人に伝えること。
(③概念・法則・意図などを解釈し、説明したりする力)

(4) 準備・資料 揭示資料、自己評価カード、風神雷神ワークシート、テレビ、実物投影機、デジタルカメラ

(5) 展開

(※は言語活動の工夫) (◎は人権教育における配慮)

学習活動及び内容	態	指導上の留意点と評価
1 風神雷神図屏風の画像（部分）を見て、その画像が何の一部なのかを推理する。①髪の毛②足③左手④持ち物（袋・太鼓）⑤全身	一斉	<ul style="list-style-type: none"> これから見る画像は、ある作品の一部であることを告げ、風神雷神図屏風（俵屋宗達）の一部分を数秒毎にでテレビで見せていく。 この時点では、風神雷神図屏風であることは伏せておく。 風神・雷神のパート①～⑤を交互に見せる。 各パートを見せながら、生徒たちの声を聞くようにする。
2 本時の学習内容を確認し、授業の見通しをもつ。 風神雷神図屏風って何が描かれている？	一斉	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを配布し、本日のめあてを記入するように指示する。 「風神雷神図屏風には何が描かれているか。」を生徒に質問し、描かれている事実とそこから感じられるイメージについて鑑賞するように促す。
3 グループで鑑賞する。 (1) グループでファシリテーターを決めて話し合う。 風神雷神それぞれの①表情、②視線、③動き(ポーズ)、④構図について自分の考えをまとめる。	小集団	<ul style="list-style-type: none"> グループの中で一人ファシリテーターを決め、協議を進めていくように説明する。 自分のワークシートに記入しながら、意見を出していくように促す。 <p>※それぞれのポイントについて各自の意見が出やすいようにファシリテーターに話合いの進行表を渡すこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> 表情や視線、動きや構図を考えるように促すことで、作品の特徴を捉え、自分の考えを発表できるようにする。 机間指導で、思いや考えを聞いたりワークシートをチェックしたりしながら、鑑賞が深まるように支援する。 風神と雷神は画面のどこにあるのがよいか、風神と雷神の姿を黒板上で置いてみせる。 グループで配置場所が決まったらデジタルカメラで撮影しておく。自分のワークシートには簡単に絵で描いておく。 なぜ、その場所に風神と雷神が描かれていると思ったのかを問いかけて、根拠を明らかにしながら鑑賞できるようにする。 <p>※感じ取った屏風絵の特徴やそのよさをワークシートを用いてまとめ、自分の考え方として友人に伝えること。</p> <ul style="list-style-type: none"> グループのファシリテーターに、グループ内の意見をまとめるように指示する。（グループワークシート使用）
(2) 風神と雷神の位置を考える。風神のパート、雷神のパートを用いて屏風の上に置く。 何故その位置に置くことがよいと思ったのかを明確にする。 (3) 宗達はこの絵で何を表現したかったのかを考える。	小集団	<p>◎他のグループの発表からグループ同士の共通点と相違点を見付けるけるように聞くことができる。</p> <p>◎風神雷神図屏風の造形のよさや美しさについて、主体的に感じ取ろうとしている。 (活動の様子)</p>
(4) グループの代表が意見をまとめたものを発表する。	一斉	
4 屏風の様式や技法を確認する	一斉	<ul style="list-style-type: none"> 二曲一双の様式 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <p>技法</p> <ul style="list-style-type: none"> たらし込み ある色を塗った上に別の色を垂らすなどして使われた。 </div> <p>◎風神雷神図屏風の特徴を知り、そのよさや美しさを感じ取り自分の価値意識をもって味わっている。 (活動の様子・ワークシート)</p>
5 本時の内容を振り返り、自己評価をする。	一斉	<p>※ワークシートに今日できたことを振り返り、まとめるように説明する。</p>
6 次時の学習内容を知る。		<ul style="list-style-type: none"> 次回は他の作家の風神雷神図と琳派の関係について学習することを伝える。